

この度は弊社製品をご購入頂き、誠に有難うございます。本製品を正しくお使い頂く為に、ご使用前に必ず本説明書を御一読下さい。また本取扱説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管して下さい。

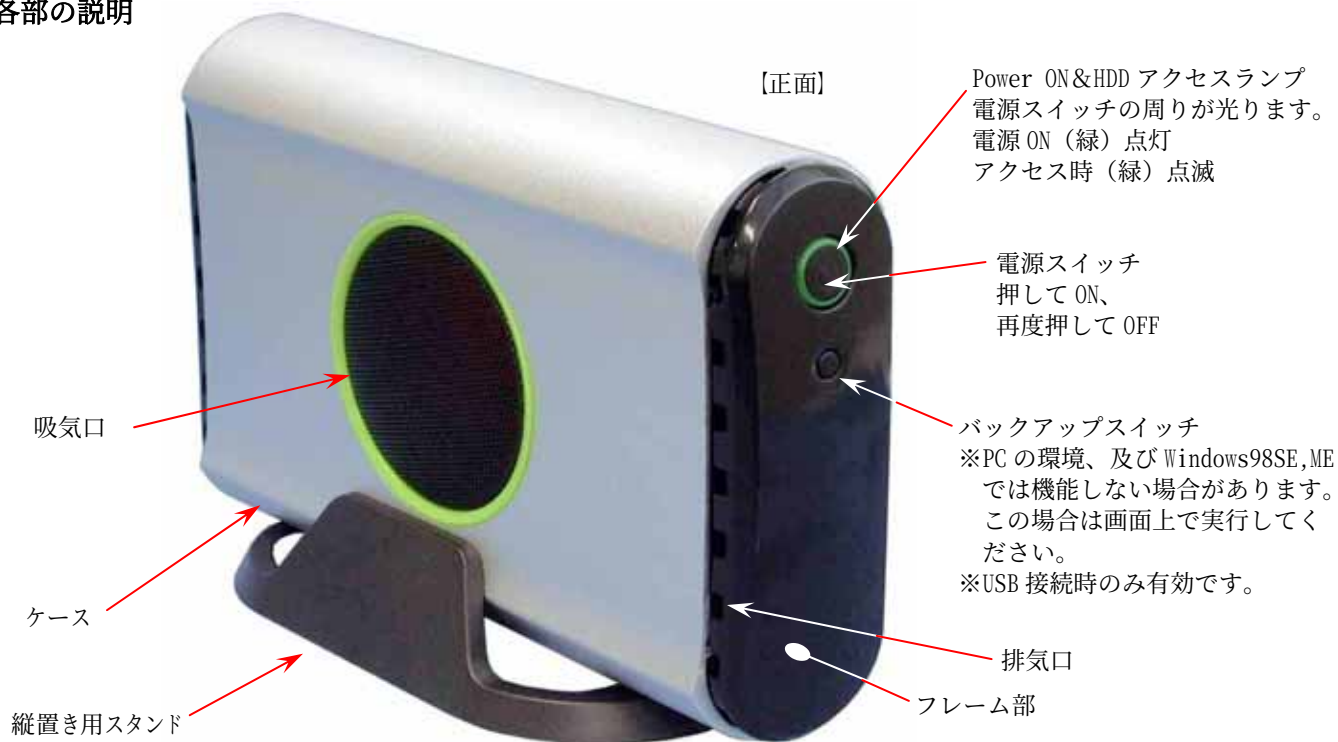
【注意】

- ★本説明書では、External Serial ATA (外付け用のシリアルATA) を略し、eSATAと表現します。
- ★eSATAインターフェイスは、現在Windows2000/XP/Vistaのみのサポートとなっています、従いましてその他の環境下での動作保証はしていません。
(WindowsME, 98SE及びその他のOSでもeSATAインターフェイスが動作する環境であればご利用可能です)
- ★本製品のハードウェア及びソフトウェアは、全てのPC環境への適合を保証するものではありません。又データの消失や破損に付きまして保証の対象外となります。大切なデータは必ずバックアップをしてください。
- ★本製品は改善のため予告無く製品の仕様を変更する場合がありますので予めご了承下さい。
- ★本説明書は、ハードディスクドライブをHDD、パーソナルコンピュータをPCと表現しています。同様にその他の名称も略称で表現しています。
- ★安全規格上、付属のDC電源アダプタは本製品専用となっておりますので、他の製品への流用、又は他製品からの流用はできません。

1. 付属品 (生産時期やロットによって付属品が変更になる場合があります)

・取扱説明書兼保証書 (本書)	1 枚
・eSATA 接続ケーブル	1 本
・SATA to e-SATA変換ケーブル(PCIブラケット付)	1 本
・USB 接続ケーブル	1 本
・SATA接続ケーブル(HDD接続用 SATA信号+SATA電源)	1 本
・IDE接続ケーブル(HDD接続用 信号ケーブル, 電源ケーブル)	1 本
・縦置き用スタンド	1 台
・DC電源アダプタ	1 台
・バックアップアプリケーション及びドライバCD	1 枚

2. 各部の説明

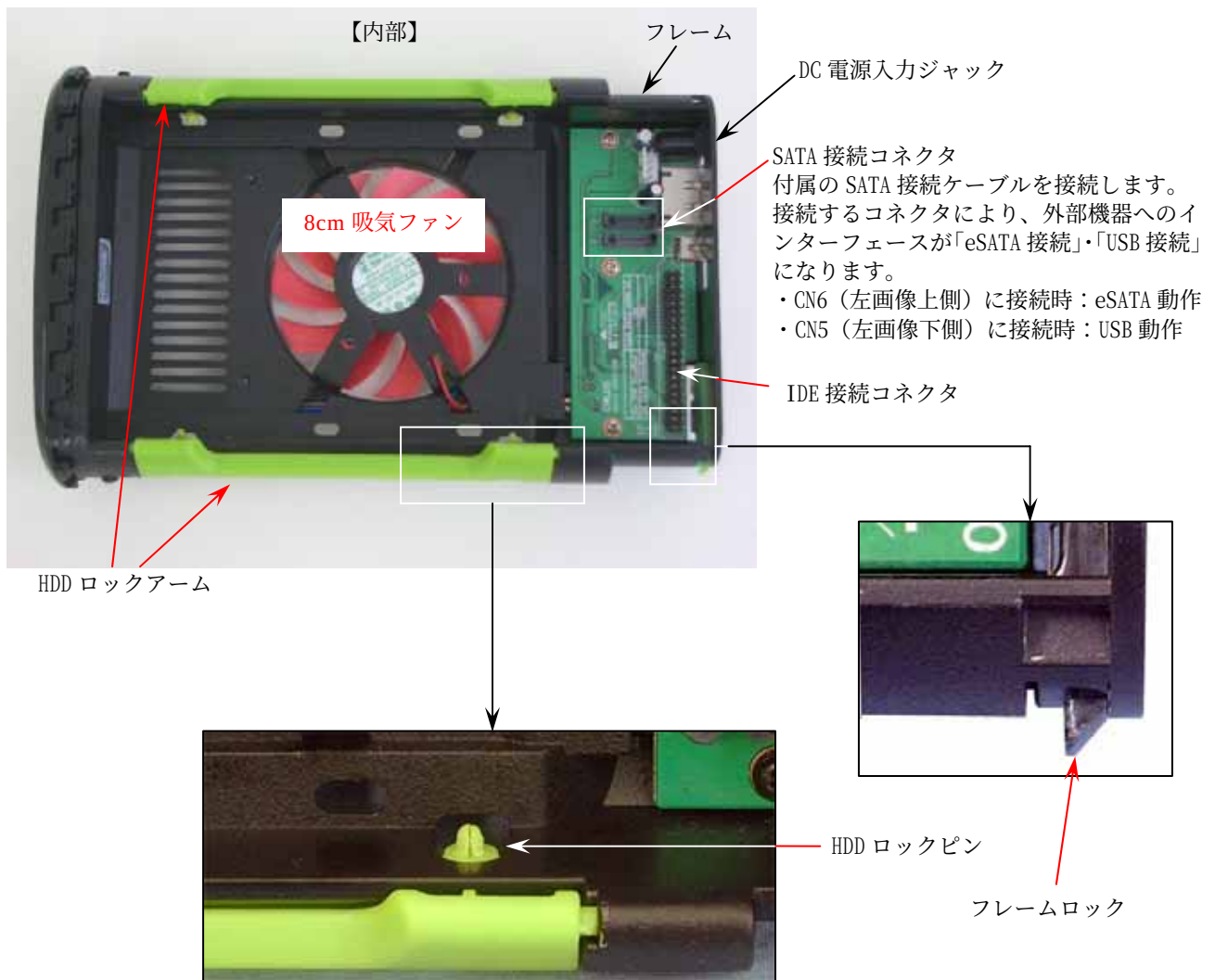


【背面】



ケースからフレームを取出す方法は、フレームロックレバーのロックを解除して、フレーム前面を持ちながら、フレーム背面を押し出します。

【注意】ロック解除がされないまま、強く押しますと本製品が破損します。



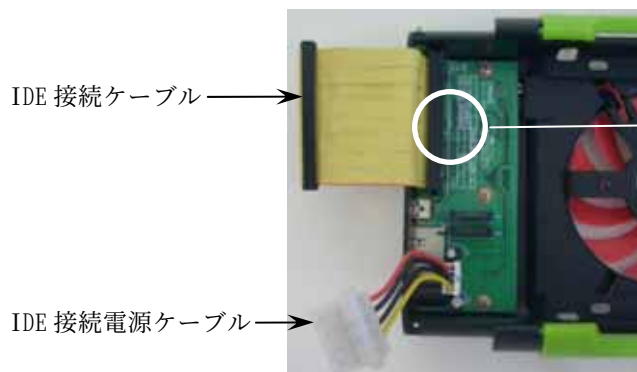
HDD ロックピンは、全ての HDD 固定穴との適合を保証するものではありません。もし穴位置が合わない場合はこの部分をニッパーなどで切断し、市販の HDD 固定用ネジをお買い求めの上、裏面よりネジで固定をしてください。このピンは無理やり挿入するとピンが破損します。この様にして破損した場合は保証の対象外になります。

3. ハードウェアの組み込み

本製品は IDE 接続 3.5" HDDを1台、もしくはSATA 接続 3.5" HDDを1台搭載することが可能です。(本製品にHDDは付属しておりません)

3-1 IDE HDDの組み込み

①付属の IDE 接続ケーブルと、IDE 接続電源ケーブルを下図のように基板へ接続します。



IDE 接続ケーブルのコネクタにある突起部が上図の位置になるように基板 (CN1) に接続します。



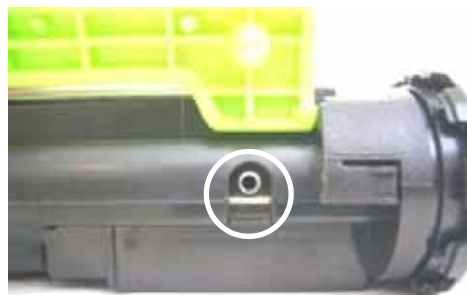
②IDE HDD を下図のように IDE 接続ケーブル・IDE 接続電源ケーブルにそれぞれ接続します。



③フレーム両側の HDD ロックアームを下図のように広げます。



④IDE HDD を下左図のようにフレーム内に収納し、HDD ロックアームを閉じます。HDD ロックアームを閉じる時に、HDD 側面のネジ穴が右下図の位置になるように調整して、HDD ロックアームを閉じてください。



⑤全体を裏返して、HDD ロックピンが正しく挿入されていることを確認します。



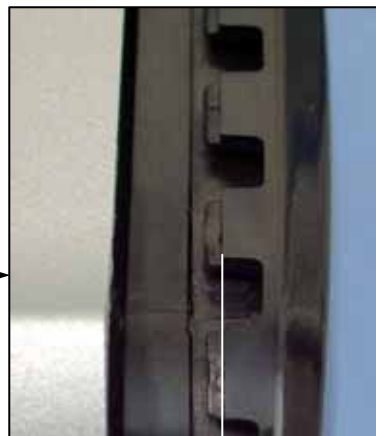
HDD 付属のネジで固定する事も可能です。ロックピンを破損した場合はネジで固定してください。(市販の 3.5" HDD 用ネジをお求めください)

⑥フレームをケースに元通りに挿入します。



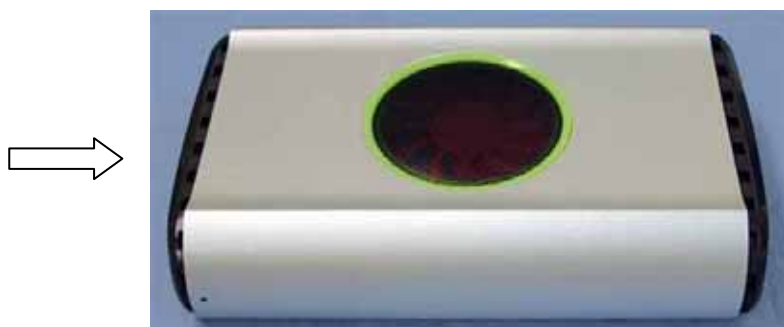
注意：吸気口（メッシュ部分）は押さないでください。吸気口の位置がずれる場合があります。位置がずれたまま HDD を挿入すると、破損の恐れがあります。

⑦フレームをケースに挿入する際、排気口付近の段差に注意して挿入してください。



この位置までケースに入ります。

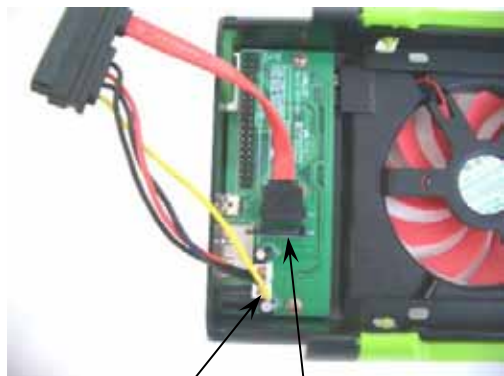
⑧最後にフレームのロックが掛かるまで、両サイドから押して完了です。



この位置でフレームがロックされます。

3-2 SATA HDDの組み込み

①付属の SATA 接続ケーブルを下図のように基板へ接続します。



SATA 接続ケーブルの、電源コネクタを接続します。

SATA 接続ケーブルの、信号コネクタを接続します。

SATA 接続ケーブルの、信号コネクタを基板のコネクタに接続する際に、接続するコネクタにより、外部機器へのインターフェースが「eSATA 接続」・「USB 接続」になります。

・CN5（下左図）に接続時：USB 動作

・CN6（下右図）に接続時：eSATA 動作



CN5 に接続
USB ポートが有効



CN6 に接続
eSATA ポートが有効

②SATA HDD を下左図のように SATA 接続ケーブルに接続します。その後の HDD の組み込みは、前項「3-1 IDE HDD の組み込み」の「③～⑧」と同様になりますので、参照してください。

※SATA HDD をフレーム内に組込む際には、SATA 接続ケーブルが下右図のようになるように接続してください



3-2 パソコンへの接続

3-2-1 IDE HDD を組込んだ場合

本製品背面の USB ポートに付属の USB ケーブルを接続してください。USB ケーブルをパソコンの USB ポートと接続することで、外付けハードディスクとして使用できます。※eSATA ポートは使用できません。

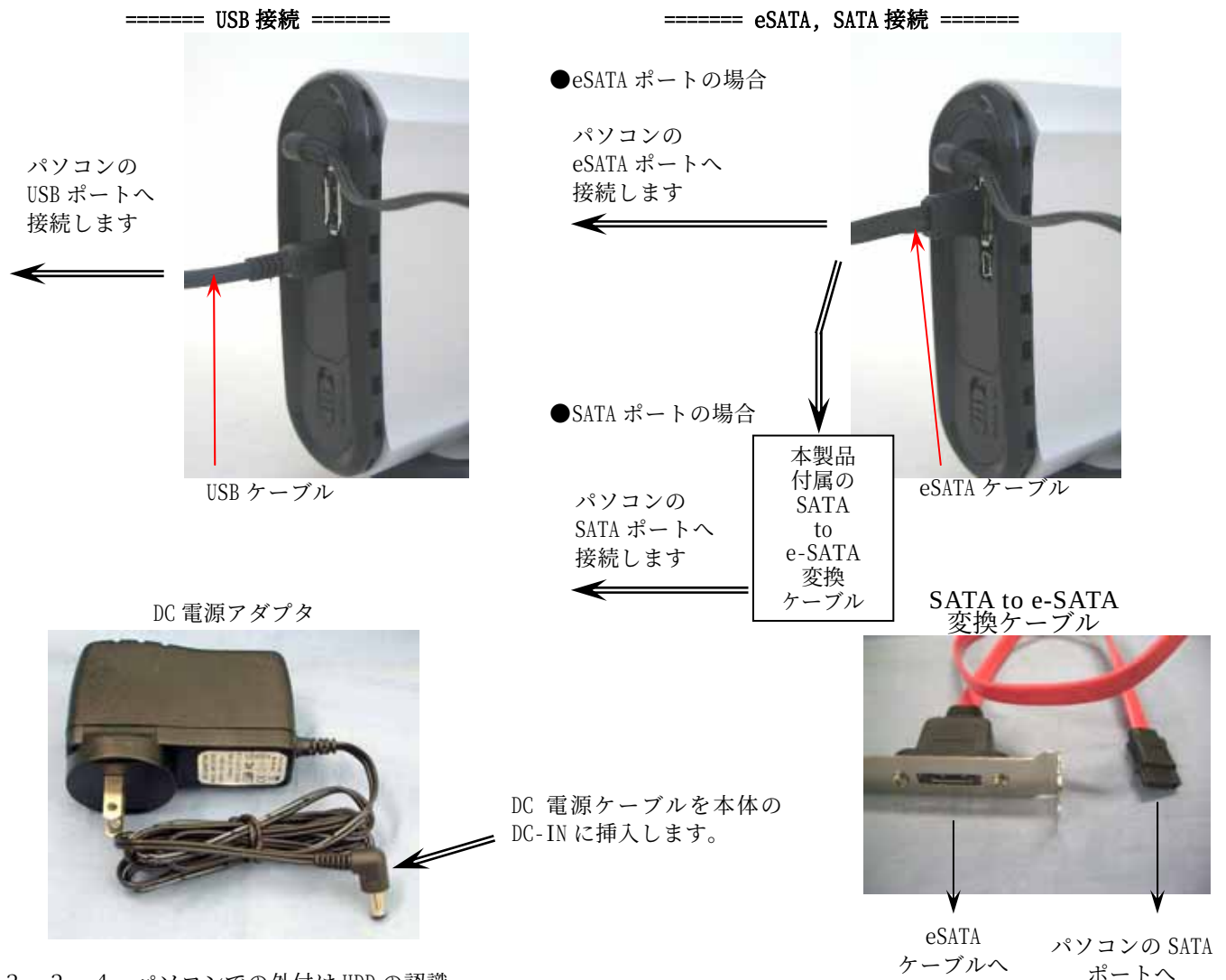
3-2-2 SATA HDD を組み込み、SATA 接続ケーブルを基板の「CN5(USB 動作)」に接続した場合。

本製品背面の USB ポートに付属の USB ケーブルを接続してください。USB ケーブルをパソコンの USB ポートと接続することで、外付けハードディスクとして使用できます。※CN5 に接続すると eSATA ポートは使用できません。

3-2-3 SATA HDD を組み込み、SATA 接続ケーブルを基板の「CN6(eSATA 動作)」に接続した場合。

本製品背面の eSATA ポートに付属の eSATA ケーブルを接続してください。eSATA ケーブルをパソコンの eSATA ポートと接続することで、外付けハードディスクとして使用できます。

また、付属の「SATA to e-SATA 変換ケーブル」を使用することで、パソコンの SATA ポートと接続することができます。
※CN6 に接続すると USB ポートは使用できません。



3-2-4 パソコンでの外付け HDD の認識

すでにフォーマット済みの HDD を組込んだ場合は、パソコンに接続するとマイコンピュータ上に、新しいドライブ名が表示されます。新品や未フォーマットの HDD ですと、「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「ディスクの管理」にて、ディスクの初期化を行い、パーティションの作成→フォーマットを実行してください。

【注意】

★本製品を「SATA to e-SATA 変換ケーブル」を使用して、パソコンの SATA インターフェイスに接続する場合には、以下の3つの条件をすべて満たすことでホットプラグ機能に対応しております。お客様の環境が以下の条件に当てはまらない場合、組み込みや取外しは必ず PC の電源を OFF にしてから実施してください。PC が起動している状態での組み込みや取外しは、HDD や PC を破損する恐れがあります。

○ホットプラグ対応条件

- ・SATA II 対応HDDを使用していること。
- ・SATA II 対応マザーボード（SATAホストインターフェース）を使用していること。
- ・SATA II 対応デバイスドライバを使用していること。

4. ソフトウェアの組み込み

4-1 eSATA接続の場合

本製品のeSATAインターフェイスは各OS共ソフトウェアの組み込みは必要ありません。但しご使用される全てのOSにおいて、マザーボードのeSATA(SATA)ポートや、ご使用のeSATA(SATA)カードが正しく認識されていて、問題なく動作している必要があります。

※マザーボードのeSATAポートや、eSATAカードに関しましては、各メーカーに問合せ願います。

4-2 USB接続の場合

本製品のUSBインターフェイスは、Windows Vista/XP/2000/MEではWindows OS標準のデバイスドライバを使用しますので、接続するだけで自動認識しますので、以下の方法でインストールしてください。

※Windows98DriverはWindows98SE以外では使用しないでください。他のOSで使用しますとOSに悪影響を与える場合があります。

- 1、付属のドライバCDを光学ドライブにセットしますと、自動的にインストール画面が開きます。その後For S-ATA側のWindows98Driverをクリックすると、Setup JMicron USB ****が出ますので、OKをクリックします。
- 2、その後本製品を接続すると、デバイスドライバのインストールが開始され、自動的に完了します。

(途中でWindows98SEのCDを要求してくる場合がありますので準備してください)

付属 8cmCD、ドライバ



【注意】

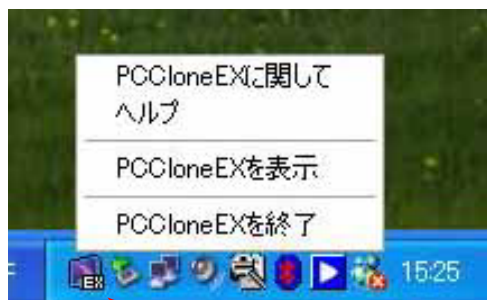
- ★本製品のeSATAポート及びUSBポートには、どちらか片方を接続してご使用ください。双方同時に接続いたしますと、故障などを起こす恐れがあります。
- ★本製品をパソコンから取外す場合、USB接続での使用後は、Windowsの取外し処理を実行し“安全に取外す事が出来ます”のメッセージが出てから取外してください。それ以前に取外しますと、HDD・本製品・データなどの破損を招く恐れがあります。eSATA(SATA)接続で取外しアイコンがない場合は、データアクセスが無い事をアクセスランプやPC側の画面・ランプなどで確認の上、取外してください。
- ★新品のHDD・未使用のHDDなどは、初期化・領域の確保(Windows OS「ディスクの管理」メニュー内にて)やフォーマットが必要になります。フォーマットが済んでいませんと認識しません。又、Windows ME, 98SEはNTFS形式に対応していませんので、HDD内にあるNTFSは認識しません。
※詳細はご使用中の各メーカーのマニュアルをご確認いただくか、各メーカーにお問合せ下さい。
- ★本製品は5V+12V系HDD対応となっております、3.3V系が必要なHDDでの動作は未確認です。
- ★本製品の設置は縦置きスタンドを使用し、平坦な安定した場所でご使用ください。又、スタンドを使用せずに平に置く場合は、吸気口を上側にして塞がないよう注意してください。
- ★本製品は電源ONの間、排気口から常に若干の温風が出ていますが、もし温風が出なくなりましたらファンの故障が考えられます。そのまま使用を継続されますとHDDが過熱する場合がありますので、使用を中止して弊社サポートセンターまで修理を依頼願います。(保証対象外の要因や保障期間後は有償修理となります)

5. バックアップ機能アプリケーション (USB接続時のみ有効)

5-1 アプリケーションのインストール

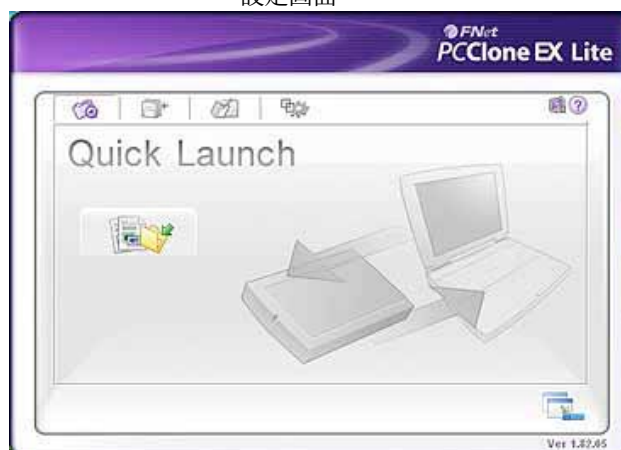
PCの光学ドライブに付属CDをセットすると右の画面が現れます。矢印をクリックするとインストールを開始しますので、その後はPC側の要求通りに進み、再起動の要求に従い再起動します。





タスクバーにできたショートカット。
終了はここを右クリックして、
PCCloneEX の終了をクリックします。
(右の画面に“×”“閉じる”はありません)

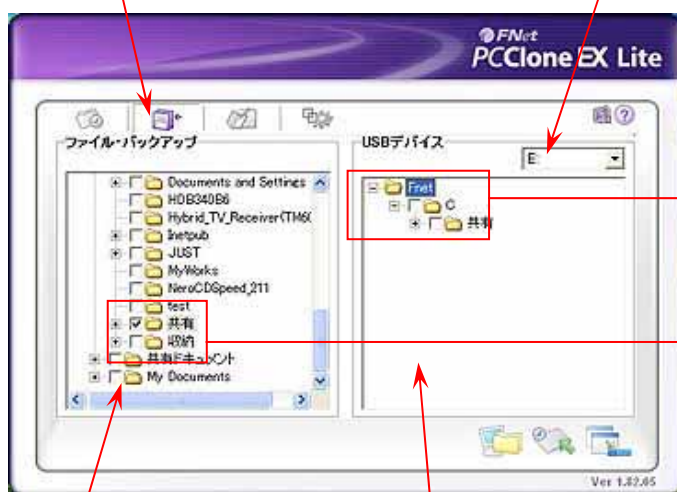
設定画面



本製品側のHDDにバックアップする、PC側のディレクトリを指定します。

このタグを実行中

本製品のドライブレター



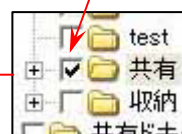
PC 側のディレクトリ一覧

本製品側のディレクトリ一覧

初回バックアップ以前は何も表示されません。
初回のバックアップ作業が終わると、PC 側にチェックを入れたディレクトリと、その上の階層のコピーが本製品側の“FNet”内に表示されます。



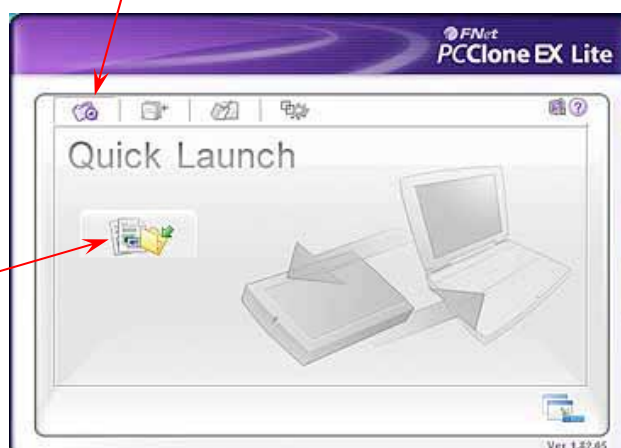
バックアップする PC 側のディレクトリにチェックを入れます。
複数選択が可能です。



このタグを実行中

バックアップの実行は、バックアップアプリケーションを起動させた後で、製品正面のバックアップボタンを押すか、以下の画面のアイコンをクリックするかのと二通りの方法があります。

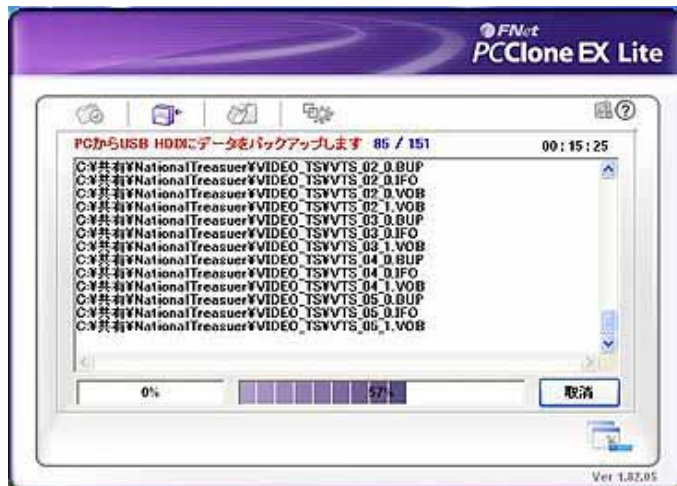
バックアップホルダなどを設定後、このアイコンをクリックすると、バックアップするかと聴いてくる画面が開くので、その中の実行ボタンをクリックするとバックアップが開始されます。製品正面のバックアップボタンを押しても同様なバックアップが実行されます。



バックアップ進捗状況。ボタン・画面どちらから実行してもタスクバーの上に表示されます。
PC環境などにより、この表示が途中で消える場合がありますが、コピーは継続されています。誤って接続を外さないようにしてください。



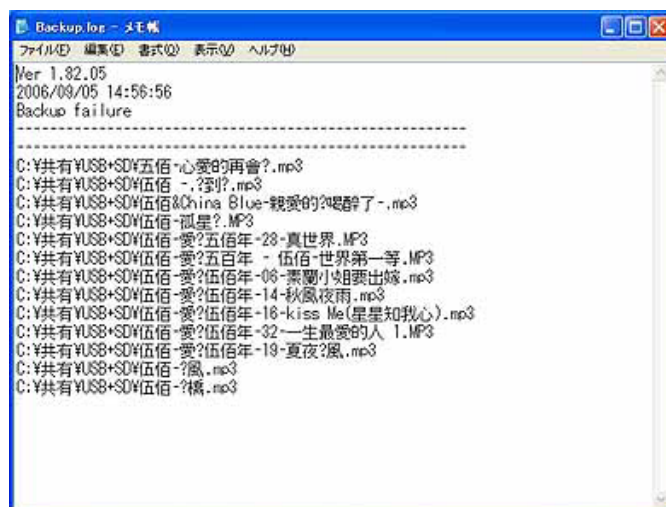
バックアップ進捗状況。こちらは画面上から実行した場合のみ表示されます。



バックアップ完了画面。OKを押して完了となります。



本アプリケーションは英文と和文のファイル・ディレクトリのみ対応しています。それ以外の言語・記号のファイルやディレクトリ名があった場合は、コピーされずエラーとなります。その他に、データ通信諸害などが起きてコピーできなかったファイルなども、コピーエラーとして記録されます。エラーは右画面の様にエラーログとして表示されます。



【注意】

- ★本製品付属のバックアップアプリケーションは、全ての環境への適合を保証するものではありません。PC環境により正しく動作しない場合がありますので、その場合は当アプリケーションの使用を中止し、PCより削除してください。
- ★バックアップ機能はUSB接続時のみ使用可能です。eSATA接続時には使用できません（反応しません）
- ★本アプリケーションは和文と英文のディレクトリ・ファイル名のみ対応しています。それ以外の言語はコピーエラーとなり、バックアップ完了後エラーログとして表示されます。
- ★バックアップ機能とは、PC側で作成・或いは上書きしたファイルの格納されているディレクトリを予め指定し、そのディレクトリを本製品に内蔵したHDDに、同じ階層のディレクトリとしてコピーするものです。
- ★バックアップ機能の性格上、ドライブレター（Cドライブ、Eドライブなどの順位）を変えないようご使用ください。特にカードリーダーやHDD外付け機器などをご使用される場合は、ドライブレターが変わる場合がありますのでご注意ください。もしドライブレターが変わった場合はバックアップディレクトリの設定をやり直す必要があります。